

もいや英明

ニュース 第14号



守家英明 令和6年9月議会報告

地域のために働きます！！

丸亀市議会9月定例会 一般質問と答弁

1. 障害者スポーツについて

質 問

先日、フランス・パリにおいてパラリンピックが開催され熱戦が繰り広げられ、日本からも多数のメダリストが誕生した。この盛り上がりを機にパラスポーツの定着や共生社会への歩みができる限り加速させるべきである。

① 本市における体制について

施策の実施に関して、本市ではどのような体制で臨んでいるのか？

② 障害者専用・優先スポーツ施設の整備について

本市の障害者専用・優先スポーツ施設の整備はどのような状況なのか？

③ 今後の方針について

共生社会や多様性の実現に向けた、障害者スポーツ推進の今後の方針は？

答 弁 (市長)

- ① 本市の障害者スポーツの推進においては、スポーツ推進課と福祉課が連携して役割分担しながら障害のある方・ない方に関わらずより多くの方の自発的な参画を促している。
- ② 専用・優先施設は設けていないが、今後、スポーツ施設の大規模改修の際には様々な障壁を取り除いていきたい。
- ③ 情報収集や・情報発信に積極的に取り組み、共生社会の実現に向け障害者スポーツの振興に努めたい。



令和6年度 9月定例会議案

第71号 令和6年度丸亀市一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ6億7,409万8,000円を追加し、予算総額は711億6,013万5,000円となります。主な内容は次のとおりです。

- ① 市役所庁内システム導入事業 6,116万3,000円
- ② 生活保護制度改正に伴う管理システム改修費 200万円
- ③ 新型コロナワクチン定期接種業務委託等 2億4,998万5,000円
- ④ 大手町地区4街区南区設計業務委託料 1,348万円

第76号 丸亀市保育所条例の一部改正について

「丸亀市子ども未来計画」に基づき、令和7年度から土居保育所を城北子ども園に統合するため、丸亀市保育所条例の一部を改正するもの。

第77号～79号 飯山総合運動公園体育館改修について

第80号 物品の購入について (高規格救急車 1台)

第81号 物品の購入について (高速救命処置用資機材 1式)

令和5年度 決算特別委員会審議

★ 学生への選挙啓発の取り組みと成果は？

特別支援学級での出前講座で代理投票制度を紹介したり、模擬投票で選挙を身近に感じてもらうなど、学生に向けての啓発活動を行った。引き続き啓発に努めていく。

★ 高齢者の運転免許証自主返納者数の推移は？また、今後の対応は？

前年度に比べて減少しているが、令和6年度は昨年度同時期に比べて50人程度増加している。返納後の交通手段の確保も大きな問題となっており、全庁的な取り組みを検討する。

★ 土地改良区による農道や水路などの法定外公共物の管理が困難な状況にあるが？

土地改良区や水利組合の組合員の高齢化、後継者不足等により管理が困難な状況にある。今後の管理について、直営または事業委託で行うのか等、関係団体と相談しながら十分に検討する。

★ 7コミュニティで実施している高齢者移動手段確保事業の持続可能な取り組みは？

年1回、実施コミュニティが集まり意見交換を開催しており活動内容や課題等の共有に努めている。また、広報誌で運転ボランティアの募集も行っており、今後も継続していく。

★ 民生委員が定員割れている地区はあるのか？また、負担軽減の取り組みは？

5地区で欠員が生じている。また、民生委員の業務の現状を把握するため、関係各課から依頼している業務や提供している個人情報を調査し、負担軽減に向けて検討していく。

★ 市営住宅の入居率と高齢者の割合は？また、要支援者への対応は？

団地ごとの入居率は70パーセントから90パーセントで、入居者の7割が高齢者である。入居時や年1度の面談により把握した状況を基に様々な対応を行っている。

★ PTA活動について本市の状況は？

現在1小学校において休会となっている。時代に合わせた活動内容や組織作りについて早急に検討する。

発行人 守家英明

〒763-0092 丸亀市川西町南858番地3

TEL 0877-28-5747 090-8692-0540



一般質問と答弁

2. 地域づくりの活性化について

質問

- ① 生涯学習推進委員について
市教育委員会より「生涯学習推進員」が各地区1名ずつ委嘱されているが、現在、約8割がコミュニティセンター所長が兼務しており、本来の業務を遂行できるのか？
- ② 有償ボランティアについて
各地区コミュニティにおいては、ボランティアの人材確保に苦慮している。人材確保の手段の一つとして、有償化を推進するべきではないのか？

答弁(協同推進部長)

- ① 17地区のうち13地区において、センター所長が兼務しており、負担が大きいものと認識している。「生涯学習推進員」は各コミュニティの地域づくりに重要な役割を担うことから人材に限られてしまう。今後は、人材育成のためにも研修会や意見交換会を実施していきたい。
- ② 他自治体の先進事例や市内導入事例を参考にしつつ、地域住民の賛同を得た中で検討していきたい。

3. 災害対策について

質問

- ① 今後の災害避難所のあり方について
異常気象による記録的な猛暑が続く中、南海トラフなど大規模地震の発生が予想されており、複合災害の発生が危惧される。小学校体育館の冷暖房設備設置など避難所の在り方を改める必要があるのではないのか？
- ② 耐震診断・耐震改修工事補助について
自己負担が少しでも発生するとすると、高齢者など低所得者は耐震を控えるのではないのか？

答弁(市長公室長他)

- ① 小学校体育館に冷暖房設備を設置することは、避難所での環境をより充実させる対策である一方、災害時での活用は限られたケースであることから設置は困難であると考えている。
- ② 非課税世帯からの補助金申請・活用は1件であるが、相談件数は増加している。また、空き家の除去支援を税制面からサポートする制度も開始しており、低所得者に対する対応も拡大している。

4. こども家庭センターについて

質問

令和4年に改正された児童福祉法等に基づき、本市でも令和7年度より「子ども家庭センター」が開設される。これまで「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」が連携を取りながら相談支援等を実施してきた『あだあじお』の存在は大きく、年間相談件数1000件の実績があった。本市の体制はどの様になるのか？

答弁(健康福祉部長)

現在、組織体制や事業内容の見直しを進めており、大きな変更点としては相談事業においては基本的に地域において行い、支援が必要と判断したケースを新たに母子保健と児童福祉を一体的に推進するための組織として設置する「子ども家庭センター」へつなぎ、解決に向けて専門的にサポートすることとなる。

能登半島地震復旧支援ボランティア

能登半島では今年1月、地震による大災害が発生し、そして9月には記録的な大雨による河川の氾濫から地震による復旧が全く進んでいない状況の中、被害がさらに拡大してしまいました。

今年7月、地元自主防災会より県社会福祉協議会を通じて能登半島地震の災害復旧ボランティアに参加させて頂き、石川県輪島市において半倒壊した家屋の畳やゴミの搬出等の支援をさせて頂きました。

現地での復旧は全く進んでおらず、倒壊した家屋や傾いた電柱、液状化した道路は地震被害当時の状態でしたが、おそらく今回の豪雨により、そのままの状態で再び被害に遭われたものと思われます。

災害復旧支援は倉敷市真備町の水害復旧に続き2回目の経験になりますが、被災地の状況を目の当たりにするたびに災害の恐ろしさ、防災の大切さを痛感します。また、今回のボランティア支援では、京都や遠くは福岡から駆け付けている方もおられました。やはりボランティアには限界があることも実感しました。一刻も早い行政機関の始動を要望します。



倒壊した家屋の状況

腐敗した畳の搬出の様子